

PALTEK

(証券コード:7587)

2021年12月期 第1四半期 決算説明資料

2021.5.10 (月)

© 2021 PALTEK Corporation. All rights reserved.

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合

- ① **2021年12月期 第1四半期
業績結果**
- ② **2021年12月期 業績予想**
- ③ **今後について**

- ① **2021年12月期 第1四半期
業績結果**

| (百万円) | 2020年第1四半期 | | 2021年第1四半期 | | 増減 | |
|-----------------|------------|--------|------------|--------|--------|--------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 8,756 | 100.0% | 7,217 | 100.0% | △1,539 | △17.6% |
| 売上総利益 | 1,073 | 12.3% | 1,128 | 15.6% | 54 | 5.1% |
| 販管費 | 861 | 9.8% | 860 | 11.9% | △1 | △0.2% |
| 営業利益 | 212 | 2.4% | 268 | 3.7% | 56 | 26.5% |
| 経常利益 | 145 | 1.7% | 125 | 1.7% | △19 | △13.7% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 73 | 0.8% | 67 | 0.9% | △5 | △8.1% |
| 1株当たり四半期純利益 | 6.68円 | - | 6.14円 | - | △0.54円 | △8.1% |

主な増減要因

- 売上高は、半導体事業およびデザインサービス事業が減少
- 営業利益は、売上総利益率の上昇および仕入値引ドル建債権がプラス評価となったため増加
- 経常利益は、急速にドル円相場が円安基調に推移し為替差損を計上したため減少

| (百万円) | 2020年第1四半期 | | 2021年第1四半期 | | 増減 | |
|----------|------------|--------|------------|--------|--------|--------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 増減額 | 増減率 |
| 半導体 | 7,970 | 91.0% | 6,387 | 88.5% | △1,583 | △19.9% |
| デザインサービス | 530 | 6.1% | 364 | 5.0% | △166 | △31.4% |
| ソリューション | 255 | 2.9% | 466 | 6.5% | 211 | 82.9% |
| 売上高合計 | 8,756 | 100.0% | 7,217 | 100.0% | △1,539 | △17.6% |

主な増減要因

- 半導体事業は、海外の携帯情報端末、ファクトリーオートメーション向けのメモリなどが堅調に推移した一方で、放送機器向けなどでFPGAが減少
- デザインサービス事業は、通信機器、医療機器向けなどが減少
- ソリューション事業は、映像配信システムが引き続き堅調に推移し、タイヤ空気圧監視システムでスポット売上が計上されたため増加

■ 売上総利益率の増加は、以下の2つが要因

- ・ 半導体事業で利益率の低い大手顧客向けの売上が減少、利益率の高いソリューション事業の売上が増加したことにより利益率が上昇
- ・ ドル円相場の変動により、仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額は変動

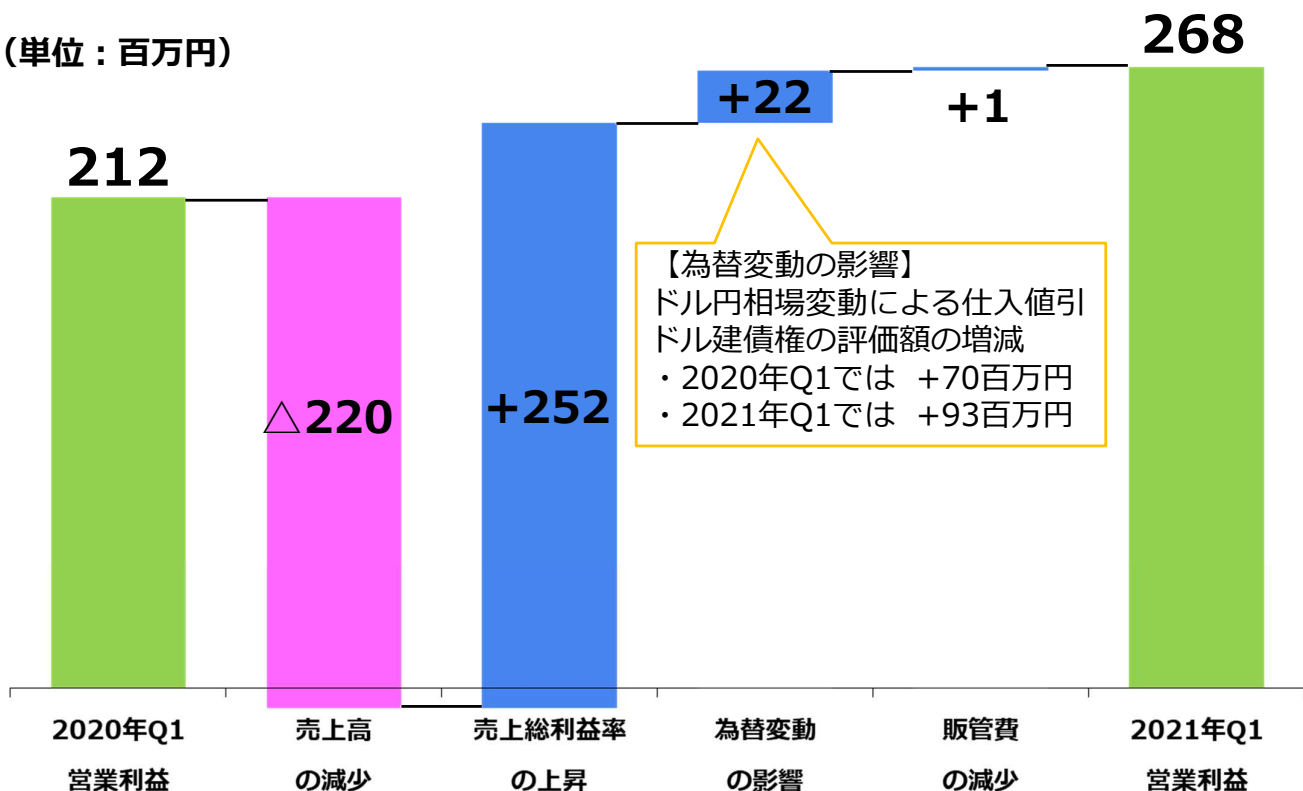
売上総利益に対する影響額は、

2020年第1四半期では +70百万円 (+0.8%分)

2021年第1四半期では +93百万円 (+1.3%分)

| (百万円) | 2020年第1四半期 | | 2021年第1四半期 | |
|---------------------|------------|-------|------------|-------|
| | 金額 | 対売上比率 | 金額 | 対売上比率 |
| 売上総利益 | 1,073 | 12.3% | 1,128 | 15.6% |
| (うち為替の影響額) | +70 | +0.8% | +93 | +1.3% |
| 売上総利益 (為替の影響を排除) | 1,003 | 11.5% | 1,035 | 14.3% |

(単位：百万円)

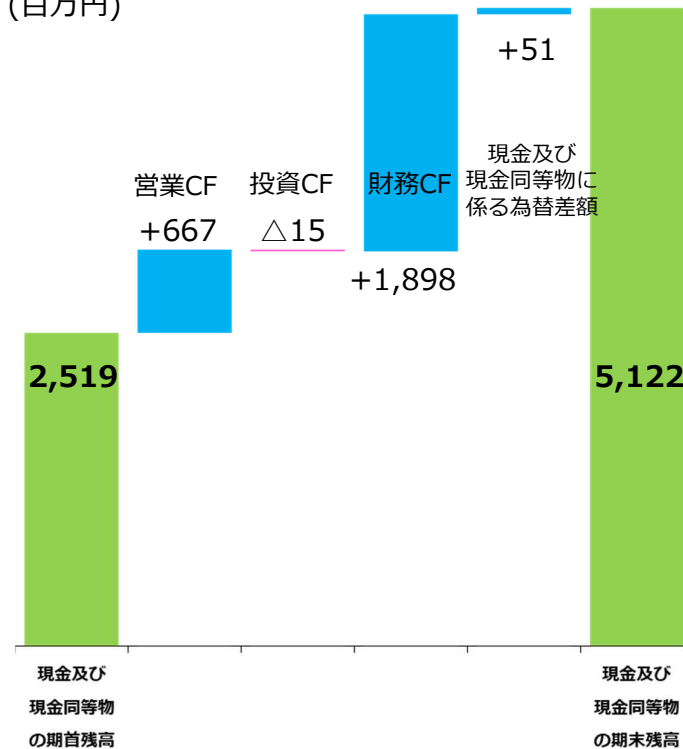


連結貸借対照表の状況

| | (百万円) | 2020.12 | 2021.03 | 増減額 | 主な増減理由 |
|----------|---------|---------|---------|-------|-----------------|
| 資産内訳 | 現金及び預金 | 2,519 | 5,122 | 2,602 | 期越えで支払うため保有 |
| | 売上債権 | 7,335 | 7,268 | △67 | |
| | 商品 | 3,246 | 3,643 | 397 | |
| | その他流動資産 | 1,388 | 1,238 | △150 | |
| | 固定資産 | 608 | 613 | 4 | |
| 資産合計 | | 15,098 | 17,885 | 2,787 | |
| 負債純資産内訳 | 仕入債務 | 1,161 | 2,226 | 1,064 | |
| | 短期借入金 | 3,080 | 5,080 | 2,000 | 仕入債務の支払いに充当するため |
| | その他流動負債 | 1,167 | 920 | △246 | |
| | 固定負債 | 214 | 220 | 5 | |
| | 純資産 | 9,475 | 9,438 | △36 | |
| 負債・純資産合計 | | 15,098 | 17,885 | 2,787 | |

連結キャッシュ・フローの状況

2021年第1四半期のキャッシュフローの動き
(百万円)



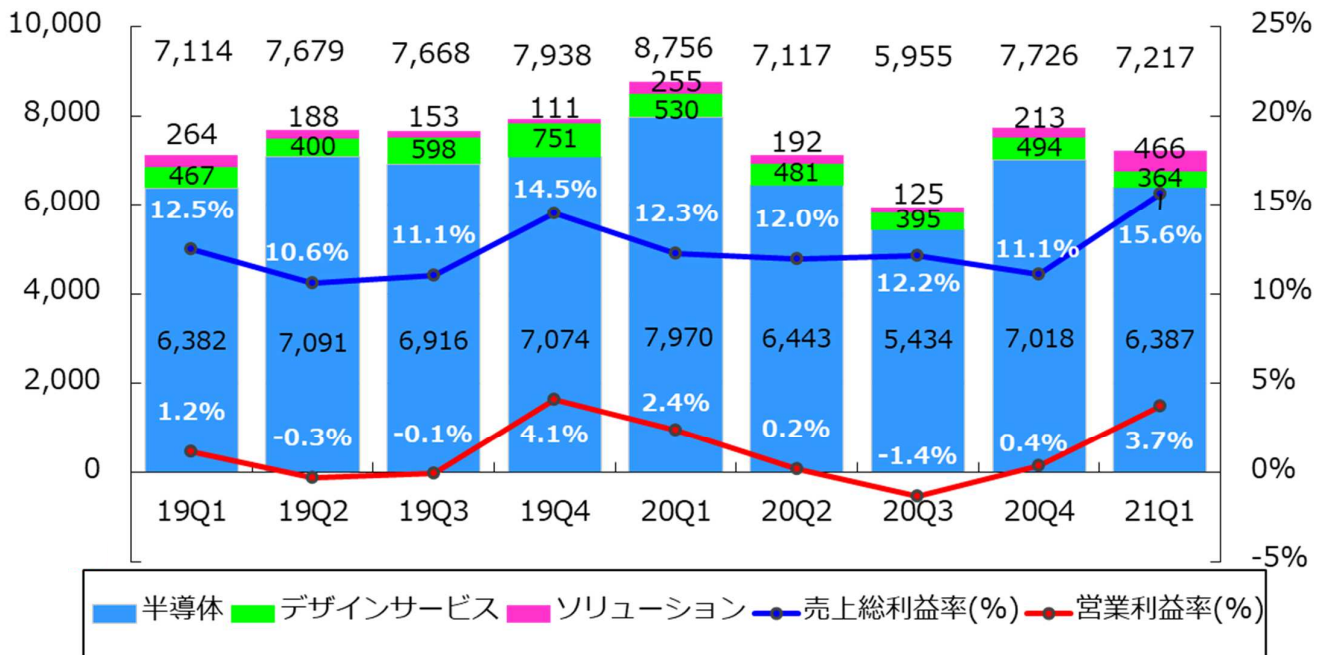
| (百万円) | 2020年 第1四半期 | 2021年 第1四半期 |
|----------------|----------------|----------------|
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,831 | 2,519 |
| 営業CF | △2,046 | +667 |
| 投資CF | △14 | △15 |
| 財務CF | +897 | +1,898 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,664 | 5,122 |

2021年第1四半期キャッシュフローの動き

- 【営業CF】 仕入債務の増加および未収入金、売上債権の減少などにより収入
- 【投資CF】 有形固定資産および無形固定資産の取得などにより支出
- 【財務CF】 配当金の支払いを実施した一方で、短期借入れの実施などにより収入

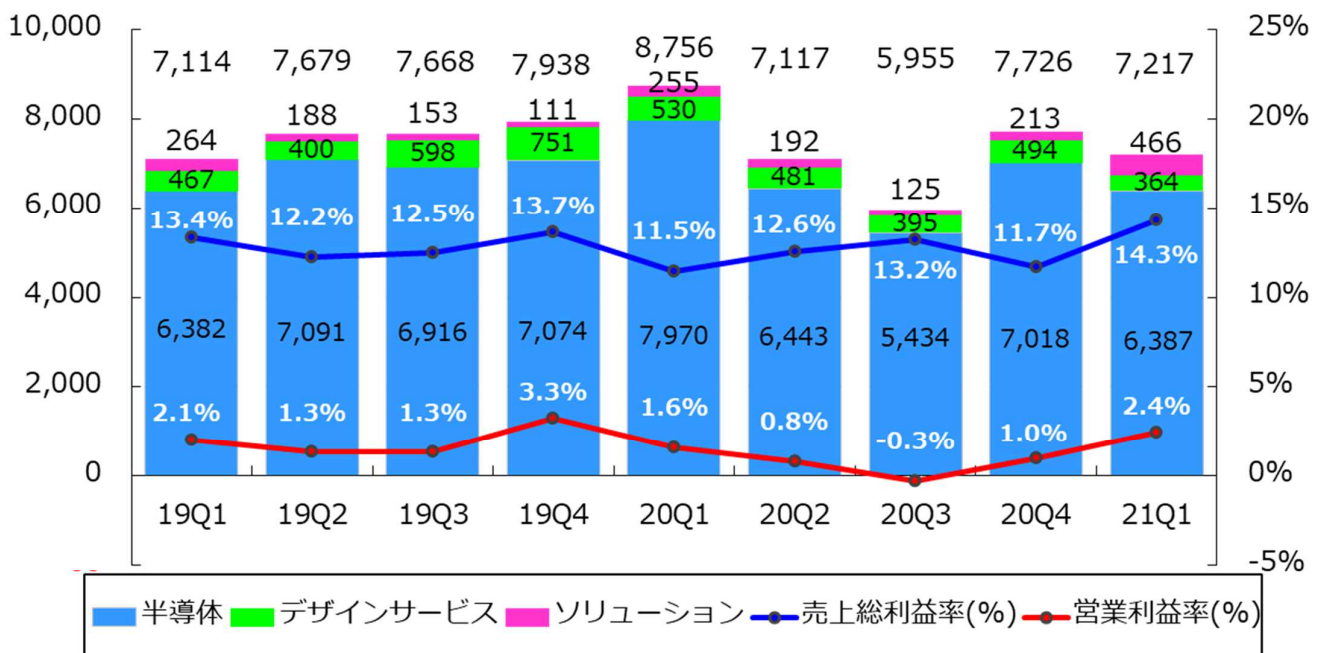
連結業績の四半期推移

(百万円)



連結業績の四半期推移 (為替の影響を除いた場合)

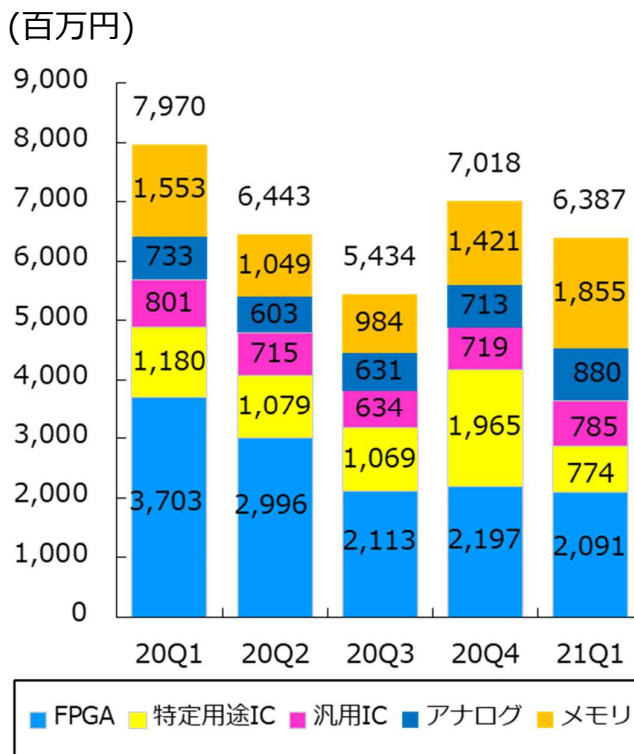
(百万円)



事業別の実績

© 2021 PALTEK Corporation. All rights reserved.

PALTEK 半導体事業の状況（製品別）

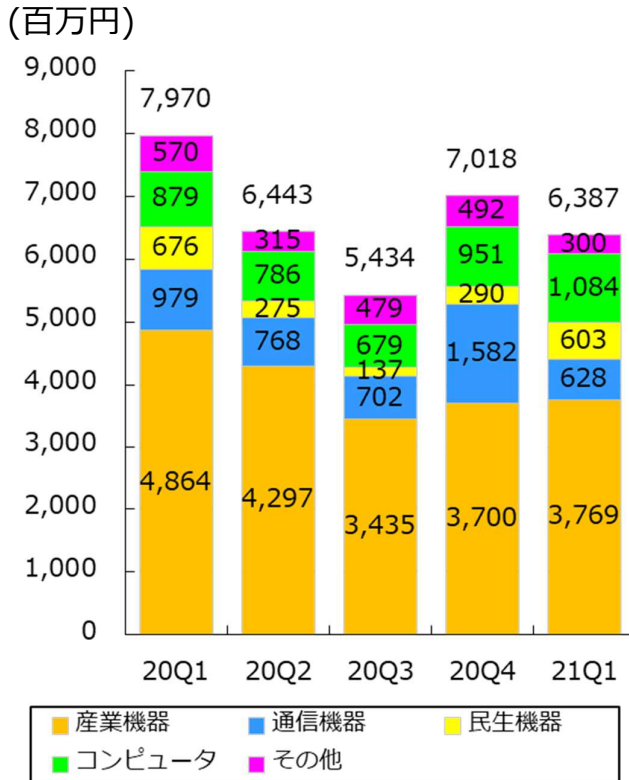


業績の推移

前年同期との比較

- **FPGA**
放送機器、ファクトリーオートメーション、計測機器向けなどが減少
- **特定用途IC**
通信インフラ、ブロードバンド通信機器向けが減少
- **汎用IC**
ファクトリーオートメーション向けが堅調に推移
- **アナログ**
コンピュータ向けなどが増加
- **メモリ**
海外ビジネス向けが増加

半導体事業の状況（用途別）

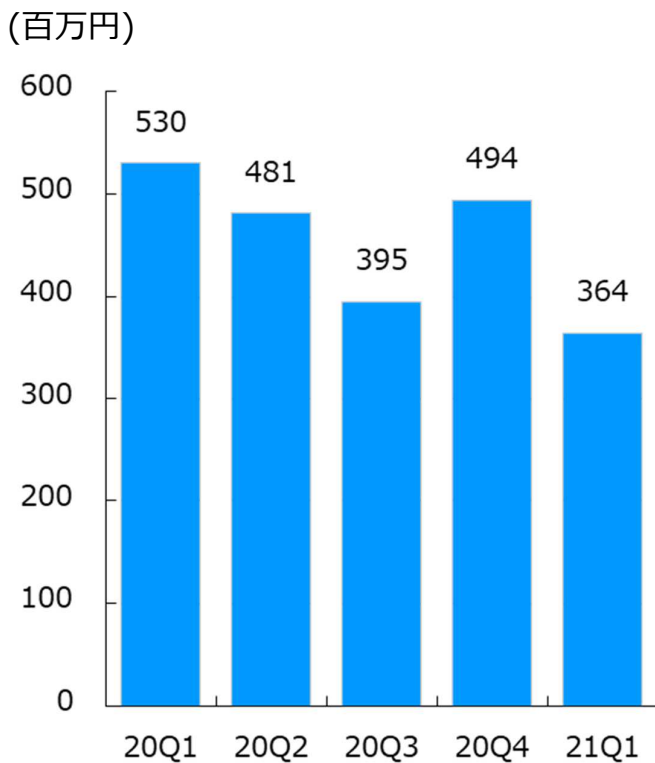


業績の推移

前年同期との比較

- 産業機器
 放送機器、ファクトリーオートメーション、計測機器向けなどが減少
- 通信機器
 通信インフラ、ブロードバンド通信機器向けが減少
- 民生機器
 海外携帯情報端末向けが堅調に推移
- コンピュータ
 パソコン向けが増加

デザインサービス事業の状況

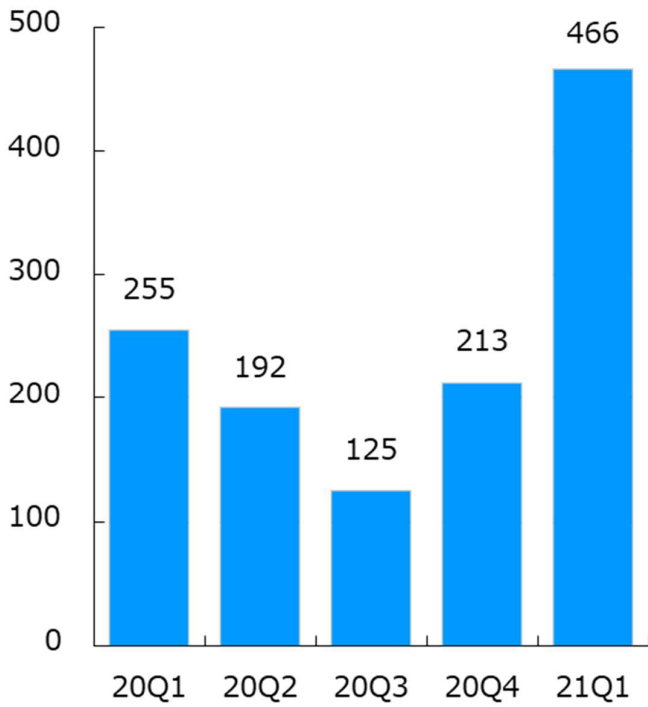


業績の推移

前年同期との比較

- 通信機器、医療機器向けの設計受託およびODMが減少

(百万円)



業績の推移

前年同期との比較

- 映像配信システムが航空/宇宙分野向けに堅調に推移し、タイヤ空気圧監視システムのスポット販売が計上され増加

2

2021年12月期 業績予想

第1四半期業績が堅調のため、 4月9日に業績予想の修正を実施

■ 第1四半期業績結果の状況

- 第1四半期業績は、想定を上回って推移

■ 第2四半期(累計)の見通し

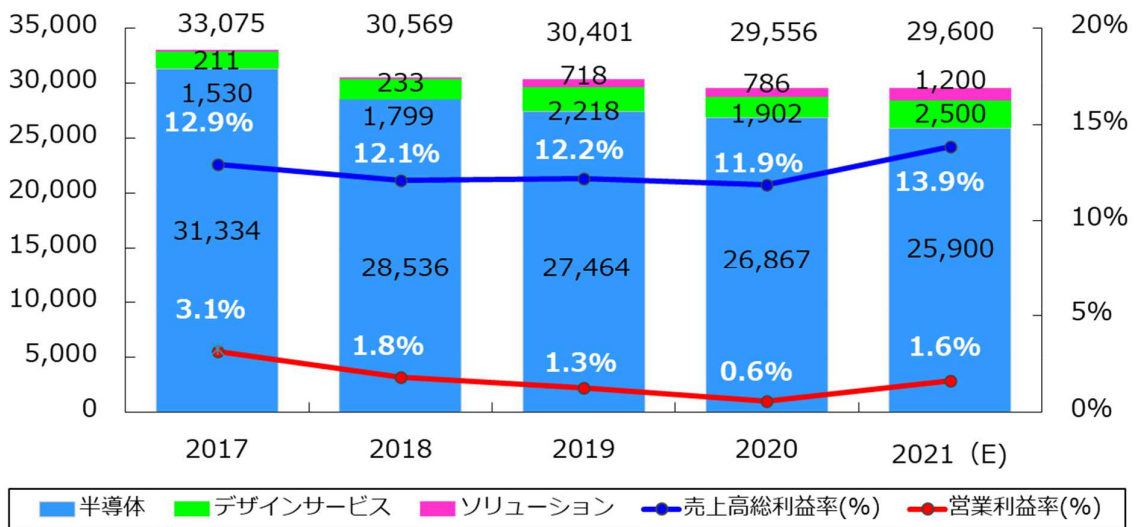
- 現時点で想定できる状況を勘案し、業績予想を修正

■ 通期の見通し

- 世界的な半導体需要の増加により、半導体製品の調達が大幅に長期化し、半導体製品の販売が困難な状況になりつつある
- 上記理由により、下期における半導体事業の売上高が減少することが見込まれるため、通期売上高は当初業績予想から変更せず

| (百万円) | 2021年12月期 予想 | | | 2021年12月期 予想 (4/9修正発表) | | | 通期増減 | |
|--------|--------------|--------|--------|---------------------------|--------|--------|------|-------|
| | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 13,800 | 15,800 | 29,600 | 15,000 | 14,600 | 29,600 | - | - |
| 売上総利益 | 1,880 | 2,220 | 4,100 | 2,050 | 2,050 | 4,100 | - | - |
| 売上総利益率 | 13.6% | 14.1% | 13.9% | 13.7% | 14.0% | 13.9% | - | - |
| 販管費 | 1,800 | 1,900 | 3,700 | 1,800 | 1,815 | 3,615 | △85 | △2.3% |
| 営業利益 | 80 | 320 | 400 | 250 | 235 | 485 | 85 | 21.3% |
| 営業利益率 | 0.6% | 2.0% | 1.4% | 1.7% | 1.6% | 1.6% | - | - |
| 経常利益 | 40 | 280 | 320 | 125 | 195 | 320 | - | - |
| 当期純利益 | 25 | 195 | 220 | 85 | 135 | 220 | - | - |

(百万円)



- 売上高 : 半導体事業が減少するも、デザインサービス事業およびソリューション事業が増加することにより、前年と同水準
- 売上総利益率 : 利益率の高いデザインサービス事業およびソリューション事業の売上高が増加するため上昇
- 営業利益率 : 新規事業への人材投資を継続するため販売費及び一般管理費が増加するが、売上総利益率改善のため営業利益率は上昇

3

今後について

2021年4月9日の取締役会において決議

- 株式会社レスターホールディングスによる当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨
- 同社との資本業務提携契約の締結

※ なお、上記取締役会決議は、レスターホールディングスが本公開買付け及びその後の一連の手続を経て、当社を完全子会社化することを企図していること並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものであります。

■ 公開買付けの概要

- 公開買付者：株式会社レスターホールディングス（東証一部：3156）
- 公開買付け期間：2021年4月12日から2021年5月27日まで
- 買付け価格：普通株式1株につき、680円
- 買付け予定の株券等の数：予定数 10,954,016株
下限数 7,293,700株 上限数 なし

※ その他詳細については、2021年4月9日公表の「株式会社レスターホールディングスによる当社株券に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨並びに同社との資本業務提携契約の締結に関するお知らせ」をご覧ください。

資本業務提携契約の締結

■ 資本業務提携契約の概要

- 締結の目的
 - 相互の信頼関係を基礎とするパートナーシップを構築・維持し、両当事者の双方の企業価値を向上することを目的とする
- 提携の内容

本公開買付けの成立後、以下のシナジーを実現するため相互に誠実な協力・支援を行う

 - ① グローバルビジネスの拡大
 - ② 国内事業拡大と事業効率向上
 - ③ 相互に有する独自事業の競争力強化
 - ④ 業務効率化による生産性向上
 - ⑤ 成長に向けた経営基盤の強化

※ その他詳細については、2021年4月9日公表の「株式会社レスターホールディングスによる当社株券に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨並びに同社との資本業務提携契約の締結に関するお知らせ」をご覧ください。

参 考 資 料

© 2021 PALTEK Corporation. All rights reserved.



為替変動に関する影響

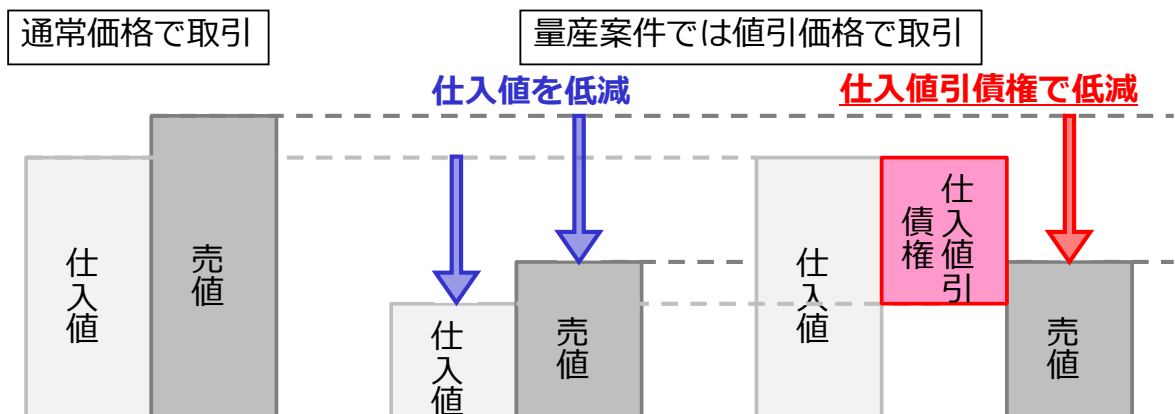
■ 為替変動により当社グループの利益は以下の4点で影響を受ける

- ① 仕入値引ドル建債権の為替変動による影響
- ② 調達在庫の為替変動による影響
- ③ 決済時のドル調達レート変動による影響
- ④ ドル建売掛金入金時のレート変動による影響

為替変動による影響の発生要因①

【仕入値引ドル建債権の為替変動による影響】

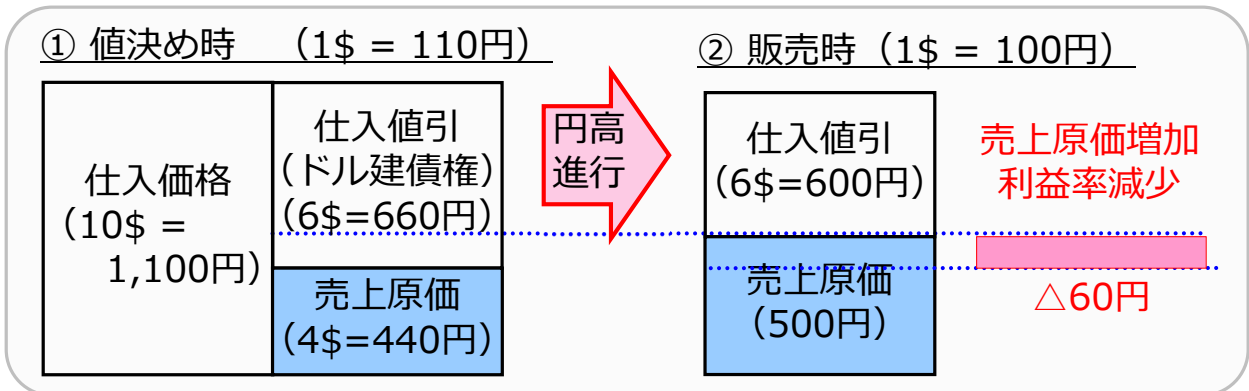
- 当社が仕入先に対して保有する『仕入値引ドル建債権』が、為替レートの変動により評価額が増減することで、業績に大きな影響を与える
- 仕入値引ドル建債権について：
 - ・ 量産案件によっては、通常価格よりも低い価格での販売を要請されることがある
 - ・ その場合、仕入先との間で仕入価格の低減交渉を行う
 - ・ その実現方法は、「仕入値自体の低減」と「仕入値引債権の付与による低減」



急速な円高進行による仕入値引債権の評価額減少

- 仕入値引債権の評価額の増減は、値決め時と販売時の為替レートの差により生じる
- そのため、急速に円高が進行すると、為替レートの差が大きくなるため、仕入値引債権の評価額が大幅に減少
- これにより、売上原価が増加し、売上総利益が減少

例：仕入れ価格10ドルの製品を販売する際の売上原価の変化

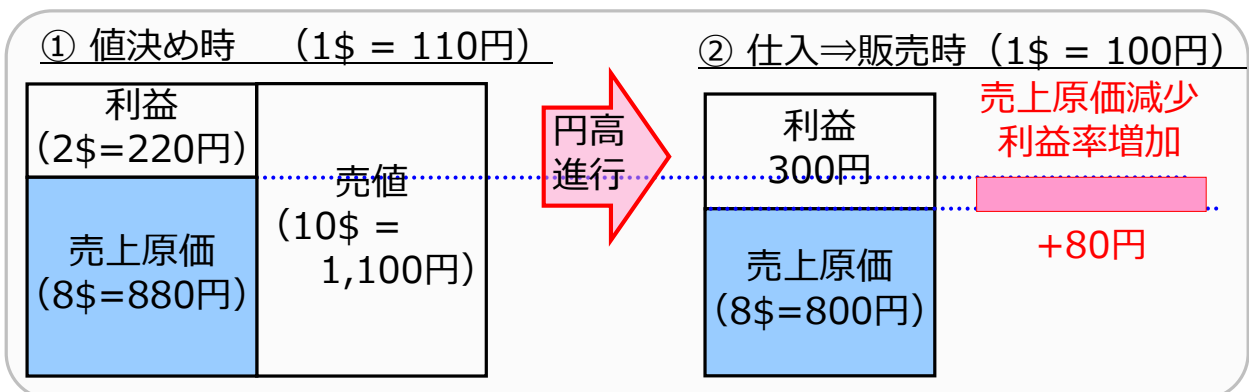


為替変動による影響の発生要因②

【調達在庫の為替変動による影響】

- 海外から仕入れたドル建の製品において、為替レートが円高に進行することにより、売上原価が減少し、売上総利益は増加

例：仕入れ価格10ドルの製品を販売する際の売上原価の変化

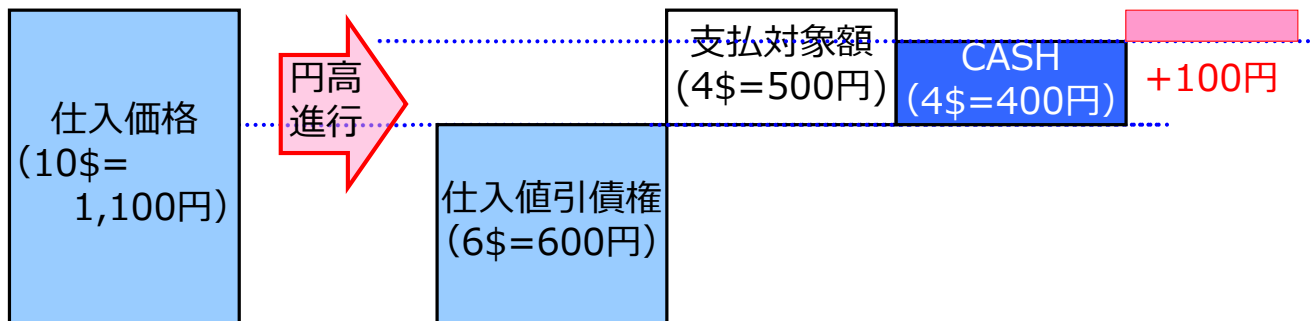


為替変動による影響の発生要因③

【決済時のドル調達レート変動による影響】

- 支払を行う際に円高に進行していた場合、ドルを調達する金額が少なくなるため、決済差額が生まれ、為替差益を計上することとなる
- 一方、円安に進行した場合は、為替差損を計上することとなる

① 仕入時 (1\$ = 110円) ② 販売・支払時 (1\$ = 100円)



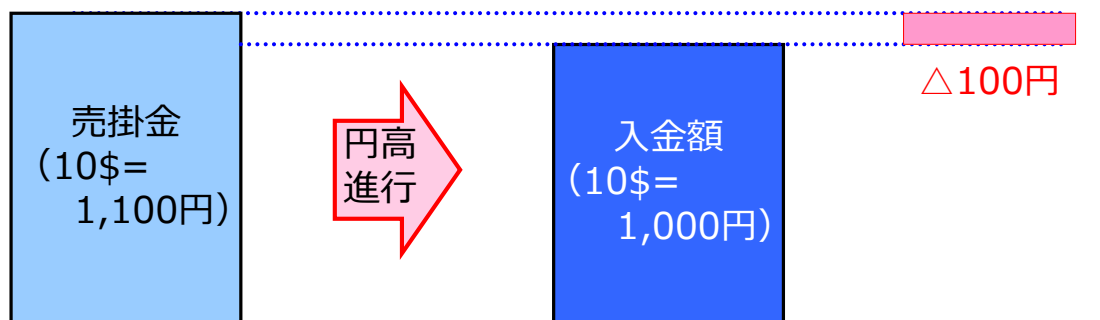
為替変動による影響の発生要因④

【ドル建売掛金入金時のレート変動による影響】

- ドル建売掛金の入金がある場合には、円高に進行するとマイナス、円安に進行するとプラスの影響が発生する（営業外の為替差損益）
- 当社はこのリスクを限定的にするために、為替予約を行っている

① 販売時 (1\$ = 110円)

② 入金時 (1\$ = 100円)



為替変動の影響額（2021年第1四半期）

■ 売上総利益への影響額

- Q1において急速に円安基調で推移したため為替変動の影響額はプラス方向に

| (単位：百万円) | 20Q1 | 20Q2 | 20Q3 | 20Q4 | 21Q1 |
|-----------------|-------------------------------|-------------------|-------------------|---------|---------|
| 為替レートの変動（円） | 108→(112→ 101→111)→ 108 | 108→(109) →107 | 107→(104) →105 | 105→103 | 103→110 |
| 為替変動の影響（売上総利益） | 70 | -43 | -63 | -48 | 93 |
| 仕入値引債権の評価額変動の影響 | 197 | -502 | -475 | -552 | -122 |
| 調達在庫の為替レート変動の影響 | -127 | 459 | 411 | 503 | 215 |

■ 営業外損益への影響額（期末評価替の影響は含まず）

- 買掛金支払時のレート変動の影響は△139百万円

| (単位：百万円) | 20Q1 | 20Q2 | 20Q3 | 20Q4 | 21Q1 |
|--------------------------|------|------|------|------|------|
| 買掛金支払時のレート変動の影響 (営業外) | -25 | 18 | 13 | 33 | -139 |

- 売掛金受取時のレート変動の影響額は+1百万円

| (単位：百万円) | 20Q1 | 20Q2 | 20Q3 | 20Q4 | 21Q1 |
|--------------------------|------|------|------|------|------|
| 売掛金受取時のレート変動の影響 (営業外) | -20 | 8 | -36 | -34 | 1 |

2021年12月期 製品別業績予想

| (百万円) | 2020年12月期 実績 | | | 2021年12月期 業績予想 | | | 通期増減 | |
|----------|--------------|--------|--------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 | 増減額 | 増減率 |
| 半導体 | 14,414 | 12,452 | 26,867 | 13,250 | 12,750 | 26,000 | △867 | △3.2% |
| FPGA | 6,699 | 4,311 | 11,010 | 5,400 | 5,400 | 10,800 | △210 | △1.9% |
| 特定用途IC | 2,259 | 3,035 | 5,294 | 1,300 | 1,100 | 2,400 | △2,894 | △54.7% |
| 汎用IC | 1,516 | 1,354 | 2,871 | 1,500 | 1,700 | 3,200 | 328 | 11.5% |
| アナログ | 1,336 | 1,345 | 2,681 | 1,750 | 1,650 | 3,400 | 718 | 26.8% |
| メモリ | 2,602 | 2,406 | 5,008 | 3,300 | 2,900 | 6,200 | 1,191 | 23.8% |
| デザインサービス | 1,012 | 890 | 1,902 | 1,100 | 1,300 | 2,400 | 497 | 26.1% |
| ソリューション | 447 | 338 | 786 | 650 | 550 | 1,200 | 413 | 52.6% |
| 売上高合計 | 15,874 | 13,681 | 29,556 | 15,000 | 14,600 | 29,600 | 43 | 0.1% |
| 営業利益 | 225 | △52 | 172 | 250 | 235 | 485 | 312 | 180.8% |

| 開示区分 | 内容説明 |
|------------|---|
| 半導体事業 | 半導体及び関連製品の販売、技術支援 |
| FPGA | ザイリンクス社のFPGAを中心とするソリューション |
| 特定用途IC | 特定用途に特化した半導体を中心とするソリューション (例：通信向け、インタフェース向け、携帯端末向け等) |
| 汎用IC | マイクロチップテクノロジー社、ネクスペリア社等の汎用ICを中心とするソリューション |
| アナログ | アナログ半導体を中心とするソリューション |
| メモリ | マイクロンテクノロジー社等のメモリを中心とするソリューション |
| デザインサービス事業 | 受託開発、ODM/EMS/OEM |
| ソリューション事業 | 最終製品レベルでのソリューション提案を実施 自社製品（ハードウェア、ソフトウェア、システム）の 開発・販売 |

以下の担当までお問い合わせ下さい。

株式会社PALTEK

柴崎 由記 (IR担当)

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル

TEL : 045-477-2072

FAX : 045-477-2012

E-mail : ir@paltek.co.jp